

ヨハネの福音書 第14章 6節

「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」

疑いに疑いを重ねる者にイエスは言われます。疑う者の疑いを問うでもなく、責めるのでもありません。疑う者に言うのです。わたし、を前面に出して言うのです。疑い問われるまま、疑われているわたしをさらけ出して言うのです。問われているわたしこそ疑いも問いも晴れる存在であると宣言して立ち、語ります。

わたし、を前面にして語られたのは、道であり、真理であり、いのちです。三つの事柄を語りながら、わたしにすべてがあると宣言します。疑いも問いもわたしに聞くなり解消されると宣言します。そのリアリティは、宣言された道を辿る者に明らかになります。宣言された真理に忠実なる者に明らかとなり、そのいのちを生きる者に明らかになります。宣言されるイエスに聴き従うなかでみことばがリアルになります。わたし、と語るイエスと共に歩むことで疑いも問いも晴れます。

そればかりか、疑いや問いが晴れる道で行き着く先が明らかになります。天の父なるみもとに来ることです。行くのではなく、来ると言うのです。わたしが先に行って待つから、来るとなります。

2023年8月3日